

## 社員の日本語力を判断するのに一定の基準を設定（後編）

～日本語検定の受検を支援して事業も人材も底上げするアップコン株式会社～

アップコン株式会社

ライター 宮坂 由香



松藤 展和 社長

アップコン株式会社は、沈下した床を特殊なウレタン樹脂で修正する会社です。同社は社内で日本語検定を推奨しており、平成 26 年度第 1 回検定試験では東京書籍賞優秀賞(団体賞)を受賞し、平成 26 年度第 2 回検定試験では 3 級で同社の長谷川啓示さんが文部科学大臣賞(個人賞)を受賞しました。日本語検定を積極的に人材育成に活用されている松藤展和社長にお話を伺いました。

## ・社員の日本語力を判断するのに一定基準を設定

「日本語検定委員会という外部機関が判断することで、完璧な公平さのことで級を定めてもらうことができるのも魅力だ」と松藤社長は言います。

日本語の大切さを強く感じ、社員の日本語能力を一定のレベル以上に保つためには、日本語検定 3 級認定を必須としています。社内で日本語検定試験を推奨し始めたのは、平成 26 年第 1 回の検定試験からのこと。同社では、建築施工管理技士や土木施工管理技士などの資格支援制度を元々設けていましたが、日本語検定も社員全員の日本語能力レベルアップを図るための「大切な資格」と位置付けて制度として取り入れました。

「予想以上に多くの社員が受検しました。3 級認定を必須としていますが、もっと上の級も目指してほしいと思っています。ですから、3 級は 3 万円を支給し、2 級、1 級は更に支給額を上げることで、社員のモチベーションを高めています。検定試験は年 2 回の開催ですが、毎回、多くの社員がチャレンジしています」

## ・日本語検定を推奨して大きな効果

「日本語検定を推奨するようになってから大きな効果が現れました」と松藤社長。今までは、施工報告書などは担当者が作成した後、上司の方が確認をし、最後に松藤社長が確認をするというチェック体制の中で、何度も作成のやり直しがあったとのこと。担当者だけでなく、上司の方がチェック漏れをすることもあり、報告書ひとつ完成させるのに時間を要していました。しかし今ではミスが減り、報告書の完成もかなりスピードアップしたそうです。

「担当者の文章能力も上がり、チェック機能もスムーズに働くようになりました。施工が終了してからあまり時間をかけずに施工報告書をお客様へ渡すことができ、「早く対応してもらえて助かる」という感想をいただくこともあります。業務の効率化になり、かつ、お客様への信頼度も高めることができ、会社全体が成長していると感じています」

日本語を学ぶことは、企業理念に“スピード”を掲げる同社にとって、効果てきめんでした。また“日本語検定に認定されている”ということが、取引先の信頼にも繋がっているそうです。

## ・話し言葉やメールにも役立っている

「日本語検定では敬語も出題されますよね。私も社員もお客様と接することが多く、当たり前のことですが、正しい敬語を使えなければなりません。電話対応の時は、業務をしながらも周囲の人間が耳を傾けており、少しでもおかしい対応があると、電話を切った後、勉強をした社員たちが指摘をし合って、正しい敬語を確認することで、更に知識を身につけています」と松藤社長。

「日本語は言葉遣いの誤りがあると、違う意味に取られることがあり誤解を招く可能性があります。会議や打合せの場合は、伝え方に誤りがあり誤解されたとしても、その場での修正が可能です。しかし、メールや送付状などの手紙の場合は、相手の姿が見えない分、誤解を与えないよう、言葉遣いに気を配らなければなりません。日本語検定は、このような文章作成をする業務にも活かされればと考えています」と松藤社長は話します。

## ・床も人材も底上げを！

同社は、平成 26 年度第 1 回において、成績優秀団体として「東京書籍賞優秀賞（団体賞）」を受賞しました。同年度の第 2 回にも再度、「東京書籍賞優秀賞（団体賞）」を受賞し、さらに、3 級を受検した同社の長谷川啓示さんが最優秀の成績を取り、「文部科学大臣賞（個人賞）」を受賞しました。身近に受賞者がいることで、他の社員も“自分たちも取得できるかも”と良い刺激になっており、周りからの応援の声を受けながら、次の級を目指しているそうです。

9 年前より新卒社員を積極的に採用している同社。「入社してからが勉強」という松藤社長の考えにより、入社後から一人ひとりの社員の成長をバックアップしています。お客様だけでなく、社員に対しても思いやりを持って接しておられ、それを形にされている姿に、地盤沈下の多い日本の床を支える力強い人材がますます増えていくのだろうと感じました。



宮坂由香(みやさか ゆか) プロフィール

文章が書けるカメラマン。現在所属中のキュレーションメディアでは、初投稿が編集部のおすすめとしてサイト上で大きく取り上げられる。主な被写体は人物、スポーツ、建物。